

夢サラダ Vol. 40

市民活動の拠点を目指しています。
「今治市民活動センター」
指定管理者：(特非)今治NPOサポートセンター
【お問い合わせ】TEL/FAX 0898-25-8234

2008. 1. 1 発行

第3回市民活動座談会『協働』(1面)

☆今月の特集：「大島それはARTな島」ARTな人で溢れる大島を紹介します。(2面・3面)

指定管理者に聞く『菊間町窯業協同組合』(4面)

第3回市民活動座談会

～三代で取り組んだ お堀クリーン作戦に学ぶ～

今回の座談会は「チーム・カオス」と「ボランティアはじめました。」が協力して行なった、今治城のお堀の清掃活動から「協働」を学びました。

団体の紹介

◆チーム・カオス◆

中心市街地再生を目指して活動するまちづくりグループで、先進的な事例を調査し、今治市の現状と合致した内容を行政へ提案する活動を主に行っています。

◆ボランティアはじめました。◆

ラヂオバリバリの高校生パーソナリティーが、子どもが動くことで大人を変えたい！中高生でゴミ拾いをしたい！と学校を超えてできる組織の必要性を感じて設立し、唐子浜の清掃や自閉症児の支援活動、My箸の普及、防災イベント企画などを行っています。



左「チーム・カオス」谷口さん

右「ボランティアはじめました。」越智さん



ボランティア・・・のメンバー

☆きっかけは？

「チーム・カオス」は、「市民の関心を高めるためには、目に見える分かりやすい活動が必要」と中心市街地にある今治市のシンボル今治城の美化活動を企画、そこで唐子浜の清掃活動などの実績を持つ「ボランティアはじめました。」に協力の打診をし、『協働』で行なう清掃活動が実現しました。

☆実際に活動してみて？

一つ拾えば一つ減る、1時間たったら広い範囲がきれいになっているのすごく気持ちよかった。ボートに乗っての清掃なので、楽しくできた。また、清掃後に焼き芋パーティーなどの楽しむ工夫をしていたので今後も活動が楽しみだ。



お堀のゴミの現状

☆成果とこれから

2時間程度の清掃活動でお堀に浮かんでいるゴミを取り去ることはできた。焼き芋や、ボートに乗っての楽しい清掃など、様々な工夫を施すことで大人と子どもが力を出し合うことができる。見守っている大人がいるから高校生は本来持つ力を発揮できる。ゴミを拾う姿は、通りすがりの市民にも大きなアピール効果が期待できる。

「誰かが拾わなければ・・・」「拾えばゴミは確実に減る。それが楽しい。」と取り組む高校生。楽しみながらのボランティア、無理のない活動、大人と子どもの身近な協働この取り組みが次世代に伝わり、いつか毎日誰かが掃除をしている状況を期待する



ボートに乗っての清掃

つまり『協働』とは！

複数の組織がお互いの特性を活かしながら、対等な立場で事業を行っていくこと！

お互いの長所を活かし取り組むことで、相乗効果が生まれ、地域課題の解決や新しいサービスの創出など、より大きな成果が期待できるすばらしい手法なのです。

大島それはARTな島

～面積41.89km²、人口約8,000人で、能島村上水軍遺跡の島、そこには夢多き人々が住んでいる～



カレイ山展望台横に建設されたOPEN CAFÉ「遠見茶屋」からの眺め

宮窪町の自然と歴史を活かしたエコミュージアム「潮流美術館」 を整備し、町の活性化を目指します



遠見茶屋の入り口

NPO法人「能島の里を発展させる会」が運営しているOPEN CAFÉ「遠見茶屋」。カレイ山展望台のすぐ横にあり、2007年8月12日にオープンしました。カレイ山から眺める瀬戸内海の美しい景色は心を癒し、その美しさに魅せられた方は何度も足を運び、土・日・祝日だけの営業にも関わらずオープンから3ヶ月で800人以上の方が訪れています。

この「遠見茶屋」は、「能島の里を発展させる会」のメンバー自身の手で、1年8ヶ月かけて作りあげられました。最高の景色の中に溶け込んだ気分になるよう、外壁はありません。テーブルはさすが大島！地元の立派な大島石で作られています。勿論香り高い美味しいコーヒーにミニケーキがセットで付いて楽しめます。コーヒーカップは大島特産の伊予焼きです。

「能島の里を発展させる会」はメンバーが54人で、とにかくいろいろな事に取り組んでいます。いくつかご紹介しましょう。

「山羊小屋をつくる」

これは、平成19年度「今治市市民が共におこすまちづくり事業」の補助を受けた事業です。現在は2匹の山羊を飼っています。この山羊の乳を将来「遠見茶屋」で飲めるかも！

「竹炭づくり」

宮窪に伝わる伝統的な技術、大島石で作られた炭窯を作っちゃいました。この炭窯で、竹炭を焼きます。（取材に訪れた日は地元のPTAのみなさんが竹炭を焼いていました。）

「しまとく」

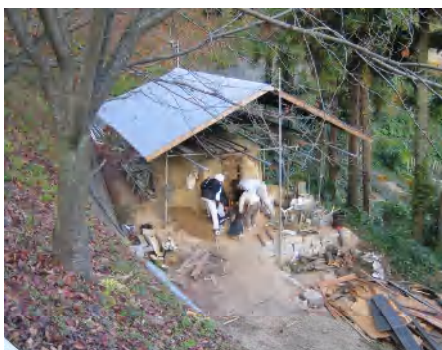
宮窪町の特産品をインターネットで販売するものです。「昔の農作物」「潮流でそだった魚」「島みかん」「最高の品質を誇る大島石」「伊予焼」「創業120年を誇る(前神)のお菓子」「竹炭」など、特産品を全国にアピールしていき、将来は合同会社にする予定です。

「古民家の活用」

築100年といわれる古民家に手を入れ活動拠点としたり、観光客やサイクリストの民泊に提供したいと計画中です。

「遊歩道の整備」

古民家からカレイ山展望台につづく遊歩道を会員の手で作っています。



竹炭づくりの炭窯



遠見茶屋で働く会員のみなさん

とにかく、彼らの夢は壮大

人が感動する観光地にしたい！カレイ山にかけて遠見茶屋で「カレー」を楽しんでもらおう！一帯をお花畑にしよう！瀬戸内海全体の環境保全を考えよう！自然の恵みを受けて輝く潮流、それは『ART』！



若い人が楽しくオシャレに暮らせる！そんな感じが伝えられたら！

パン屋「Paysan」は吉海町にあるパン屋さんです。ペイズンと読み、農夫という意味だそうです。2006年10月にオープンして以来大人気のパン屋さんです。

5年前に関西からご家族で越してこられています。ご夫妻は子ども達に安心して食べれるものを作ってやりたいと、豊かなものを求め、南に住みたいと考えておられて見つけたのが大島だったそうです。



営業日

「定年後に田舎暮らしに憧れて移住される方は増えてきているようだが、若い人が楽しく豊かにオシャレに暮らせる感じが伝えたい」とキラキラの瞳で話された奥様は年に2回ほどの発行を予定している「Shima 2 times」を島の主婦仲間（Shima2Net）と製作し第1号が発行されています。島のおすすめのお店や美観スポット、素敵な趣味や特技を持っている方の紹介など、まさに島生活情報誌となっています。現在第2号に向けて毎日楽しくお話しをしているそうです。第2号が楽しみです。



「Paysan」の求さんご夫妻

「ブログなどは彼女が担当で僕はパンを作るだけ」と素敵な笑顔で話してくださったご主人は、出来る限り安全でオーガニック（無添加・有機）な素材にこだわっていて、手づくりレンガ窯で自家製天然酵母を使って自信たっぷりのパンを焼いています。

営業は毎週土曜日

11時～17時

売り切れしだい閉店です。



木曜日は伯方島や大三島で販売していて、カフェや美容室・雑貨屋さんなど決まった「Paysan」のパン達場所に行っていますが、3人以上集まれば直接出向いてくれるそうです。

余所国のガソリンスタンドはお食事ができる

ガソリンスタンドを「あぶらや」と言う人も多いですが、ズバリその名も「あぶらや」と言う茶店があります。一見普通のガソリンスタンドですが、事務所と思われるドアを開けるとなんとカウンターと4人がけが1席あり、カウンターでは常連らしき男性が3人食事をしていました。

この「あぶらや」は6年前の母の日にオープンしています。あぶらやのエッチちゃんと親しまれている村上悦子さんは、お店をするのが長年の夢だったそうです。メニューは日替わりで絶対に毎日献立が違うそうです。「なるべく地元のものを使う」というその日のメニューは舌平目ムニエルのシチュー風、柿の入ったサラダ、キンピラ、



舌平目のシチューがメインのランチ

さんまの梅干煮などです。最後の自家製デザートはホカホカの焼きりんごでした。

息子さんとお嫁さんも手伝い、家族で仲良く運営しています。毎日変わる献立を考えるのが楽しいとおっしゃっていました。

営業は、9時からランチがなくなるまでですが、夜も営業して欲しいとの声もでているそうです。定休日は毎週日曜日です。

大島は島四国もあり、今までもお遍路さんの食事を作ったり、石屋で忙しい主婦が助かればとお寿司を作ってくばったりと貢献をしてくておられます。

お接待のころ

美味しいものを食べてもらいたい、みなさんのお役に立ちたいそんなお接待のころに溢れているエッチちゃんでした。



あぶらやエッチちゃんと息子さん夫婦

指定管理者に聞く！

菊間町窯業協同組合



瓦のふるさと公園

指定管理者制度とは？

多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費節減を図ることを目的に、平成15年6月の地方自治法改正により創設されました。

この制度が導入されたことにより、これまで公共的な団体等に限定されていた公の施設の管理運営を民間事業者も含めた幅広い団体にも委ねることができるようになりました。

今治市では、平成16年4月から指定管理者制度を導入しています。

今治市菊間町にある『瓦のふるさと公園』（かわら館含む）の運営を今年4月1日から行なっていく「菊間町窯業協同組合」代表理事の津田光利さんにお話を伺いました。



菊間町窯業協同組合とは？

窯を持って瓦を焼く人達の組合で組合員は25人です。



指定管理者に手をあげたのは？

組合で何度も話し合い、やはり「瓦のふるさと公園」と『瓦』がついている公園を瓦を焼く者の集まりである菊間町窯業協同組合が管理するのが相応しいだろうということになったからです。

隣接する「かわら館」も同時に管理することとなるので、やはり我々が管理するべきだと思います。



運営するに当たって？

人の確保が必要となってきます。きっちりと教育された人員を用意していきたいと思っています。公園ですので遊具などもたくさんあります。遊具のしっかりとした点検も求められるでしょうから気を引き締めていきたいです。

万が一のための保険などについてもしっかりと勉強し備えたいと思っています。



メッセージをお願いします

菊間町は合併により今治市の一番はしにありますが、海の景観はすばらしく、何より誇れる地場産品の「瓦」の生産地です。その瓦を作る者達が瓦のまちにある公園を管理していきます。良質のサービスに心がけ、市民の方々に喜んでいただくよう努めますので、どうぞ、「瓦のふるさと公園」「かわら館」へ足をお運びください。



かわら館



このページでは

指定管理者になった方々にお話を伺い掲載しています。次回号でも紹介していきますので貴団体の活動の参考にしてください。

指定管理者制度や管理者になるための準備など詳しいご相談がある方は今治市民活動センター内にある特定非営利活動法人今治NPOサポートセンターまでご相談ください。